

静岡県

静岡県退職校長親和会

設立 昭和42年2月11日

静岡県退職校長会親和会は支部、地区の活動と県の事業とがあります。それぞれの機能と役割を十分に活かしていくために、また、教育界の動向を見極め、新たな社会状況に対応した親和会のあり方について「静岡県退職校長親和会あり方検討委員会」を立ち上げ検討してきました。令和4年度にその提言をいただき、理事会を通して、できるところから取り組んでいます。検討項目の1は「会員相互の親和の推進と会員の教養向上」2は「生涯学習の推進と福利の増進」3は「本県教育へ支援」4は「支部活動の推奨」5は「情報教育の強化」6は「その他」です。その他の項目では新規会員勧誘の手立て等になっています。この答申を受けてすぐに取り組めることから進めています。

支部の活動の大きな役割は会員の趣味や生きがいを仲間の繋がりを通して高めていくことです。また、自治会や学校運営協議会など学校へのボランティアとして活動しています。県の事業としては会報、親和会だより、フェスティバルの3大事業があります。昨今の教育課題に対し、少しでも貢献するために県教育委員会と話し合いの場を設け、学校現場の課題や行政への要望を出しています。

静岡県では退職校長親和会の事業を現職校長に理解し、協力していただくため、準会員として加入していただいています。今日の加入減少の課題に対応するための大きな力になっています。

本年度から役職定年に伴う定年制の延長が始まりました。静岡県では60歳での校長退任をもって親和会への入会を決めています。勤務をしながら親和会へ入会していただくことは難しくなります。そのため、早くから加入への勧誘の働きかけをするとともに60歳後の勤務の在り方や給与上の保障について、県と情報交換をしながら要望をしています。また、県教育委員会からは人材不足の課題があり、それを受けて各支部から人材バンクの資料を提出しました。今後は政令市の教育委員会とも話し合いの場を広げていきたいと考えています。

